

コンパクトディスク コンパクトプレーヤー

取扱説明書/Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので
必ず保存してください。

Discman

D-E305

Sony Corporation © 1997 Printed in Japan

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
保証期間中の修理は 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
部品の保有期間について
当社では、CDコンパクトプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ

ワールドモデルとは
日本でも海外でも使用できるように海外、国内の電気事情(電源電圧AC100~240 V)に合わせたACパワーアダプターが付属されているモデルです。

海外での保証とアフターサービスについて

- 保証期間は、日本国内ではお買い上げ日より1年間、海外では90日です。
- 海外での修理やアフターサービスについてご不明な点は、保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にお問い合わせください。

ACプラグアダプターについて

ACパワーアダプターがコンセントと合わない場合は付属のACプラグアダプターをお使いください。

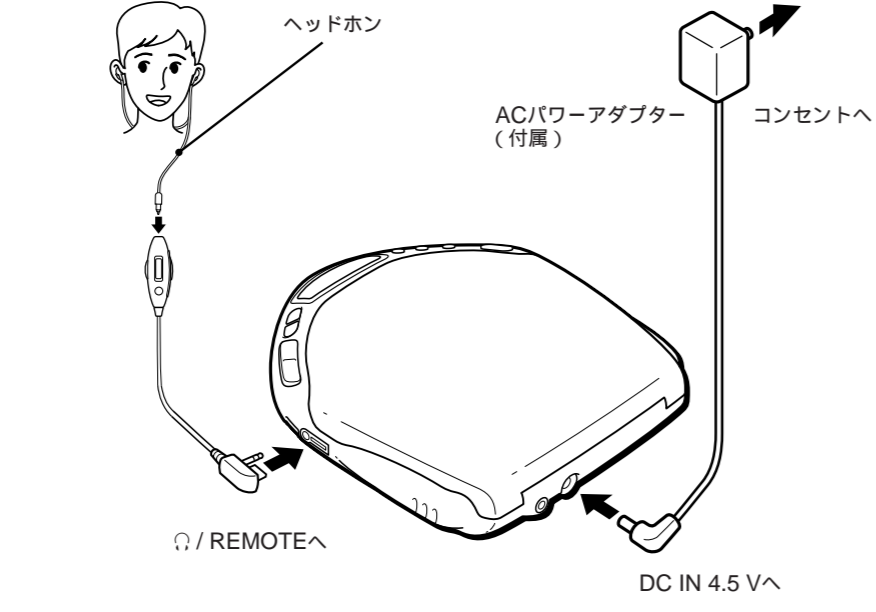
ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

CDを聞く / Playing a CD right away!

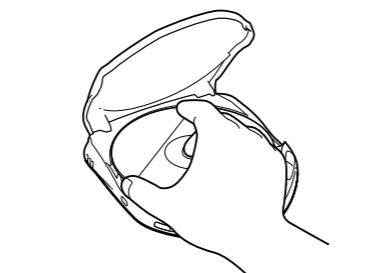
付属のACパワーアダプターを使ってCDを聞いてみましょう。
充電式電池、乾電池(裏面の「電源」参照)や車のバッテリーで聞くこともできます。

1 つなぐ



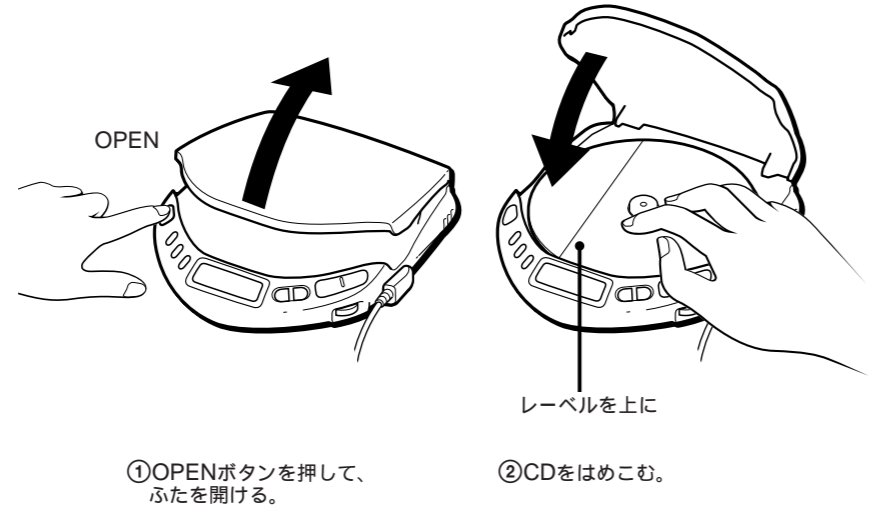
オートマチックミュージックセンサー
*AMSはAutomatic Music Sensorの略です。曲の頭を検出機能です。
**これらの操作は、演奏中にも一時停止中にもできます。

CDを取り出すには
中心の黒い部分を押さえながら、端のほうからつまみあげます。

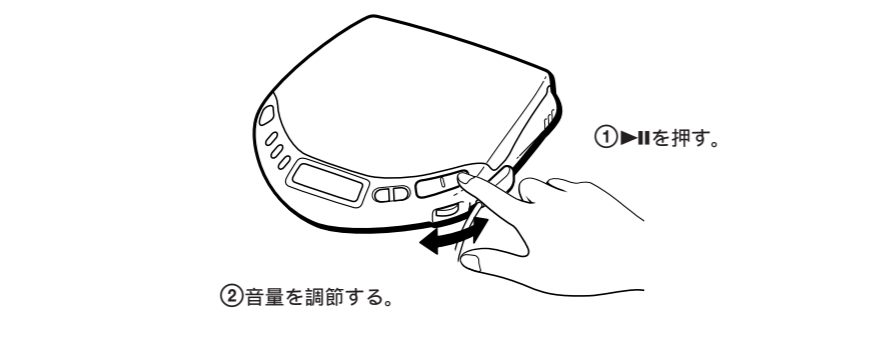


リモコン操作で音量を調節するには
まずリモコン側のVOL(volume)つまみをMAXに合わせ、本体のVOLUMEつまみでリモコンがMAXのときの音量を決めます。

2 CDを入れる



3 聞く



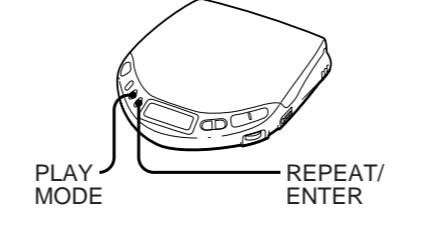
演奏を止めるには、■ボタンを押します。

いろいろな聞きかた

繰り返し聞く

(リピート演奏)

通常の演奏や、イントロプログラム演奏、シャッフル演奏、プログラム演奏を繰り返し聞けます。1曲だけでも繰り返し演奏できます。



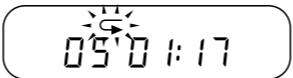
全曲を繰り返すには
リピート エンター
演奏中にREPEAT/ENTERボタンを押します。
☞が出来ます。



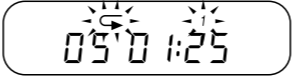
リピート演奏をやめるには、もう1度REPEAT/ENTERボタンを押します。

1曲だけを繰り返すには

1 繰り返ししたい曲の演奏中にREPEAT/ENTERボタンを押す。
☞が出来ます。



2 「1」が出るまでPLAY MODEボタンを繰り返し押す。

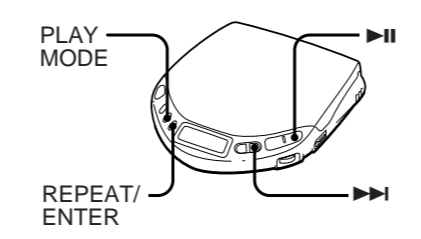


他の曲を繰り返すには◀◀または▶▶を押します。

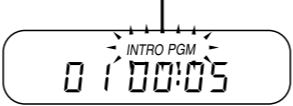
リピート演奏をやめるには、もう1度REPEAT/ENTERボタンを押します。

聞きたい曲だけを聞く (イントロプログラム演奏)

曲の最初の15秒をひと通り聞きながら曲を選び、選んだ曲だけを聞けます。



1 演奏中に「INTRO PGM」が出るまでPLAY MODEボタンを繰り返し押す。



2 ▶▶ボタンを押す。
各曲の最初の15秒を次々に演奏します。「INTRO PGM」は速く点滅します。

3 聞きたい曲になったらREPEAT/ENTERボタンを押す。
曲が登録されます。聞きたくないときは次の曲に移るまで待つが、▶▶を押します。

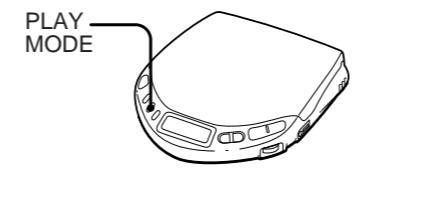
最後の曲の演奏が終わると、「INTRO PGM」の点滅が止まり、登録した曲だけが自動的に演奏されます。

最後の曲までいかに登録を終了するには、▶▶ボタンを押します。登録した曲が演奏されます。

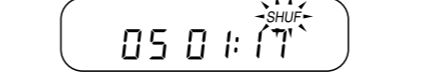
イントロプログラム演奏をやめるには、演奏モードの表示が消えるまでPLAY MODEボタンを繰り返し押します。

順不同に聞く (シャッフル演奏)

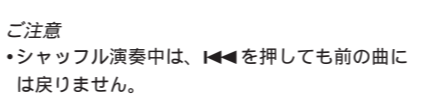
全曲を順不同に聞けます。



シャッフル演奏中に「SHUF」が出るまで、PLAY MODEボタンを繰り返し押す。
☞が出来ます。



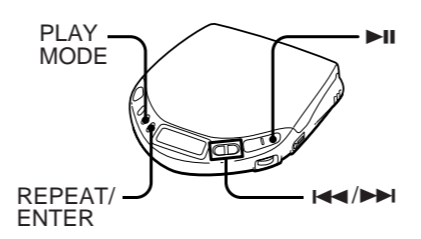
シャッフル演奏をやめるには、演奏モードの表示が消えるまで、PLAY MODEボタンを繰り返し押します。



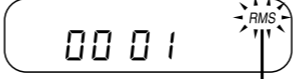
ご注意
・シャッフル演奏中は、◀◀を押しても前の曲には戻りません。

好きな順に聞く (プログラム演奏)

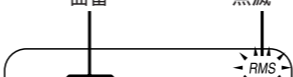
最大22曲まで好きな順に聞けます。



1 演奏中に「RMS」が点滅するまで、PLAY MODEボタンを繰り返し押す。



2 ◀◀または▶▶ボタンを押して曲番を選ぶ。
曲番と演奏順が出ます。



3 REPEAT/ENTERボタンを押す。

4 2、3を繰り返し好きな曲順を選ぶ。
誤動作を防ぐには
(ホールド機能)
ENTERボタンを押す。

5 ▶▶ボタンを押す。
「RMS」の点滅が止まり、選んだ順に演奏が始まります。

プログラム演奏をやめるには、演奏モードの表示が消えるまで、PLAY MODEボタンを押します。

プログラムした曲順を確認するには

プログラム中 5の操作の前にREPEAT/ENTERボタンを押します。
プログラム演奏中 「RMS」が点滅するまでPLAY MODEボタンを繰り返し押し、点滅したらREPEAT/ENTERボタンを押します。

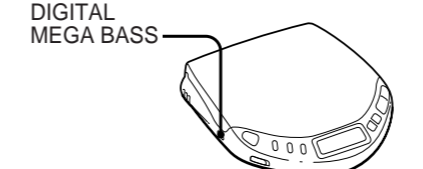
REPEAT/ENTERボタンを押すたびに曲番と演奏順が表示されます。

ご注意
・22曲をプログラムした後さらに曲を選ぶと、最初にプログラムした内容が消えて、新しい曲がプログラムされます。

いろいろな機能を使う

低音を強調するには

音楽に合わせて、重厚で迫力のある音で演奏を楽しめます。

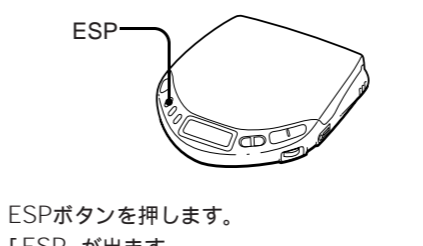


DIGITAL MEGA BASS
DIGITAL MEGA BASSボタンを押して、「BASS ◀」または「BASS ▶」を選びます。
「BASS ▶」のほうがより強調されます。

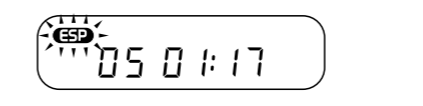
ご注意
・音がひずむときは、音量を下してください。

音飛びを防ぐには

ESP(Electronic Shock Protection)機能はCDのデータを約10秒分ずつ電子回路に貯えておくことにより、音飛びを防ぎます。移動中、歩行中や車の中など振動の多いところで聞くときは、この機能を使ってください。



ESPボタンを押します。
「ESP」が出ます。

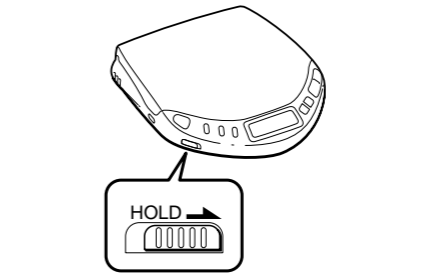


ESP機能をやめるには、もう1度ESPボタンを押します。

ご注意
・強い衝撃が加わると演奏が停止することがあります。

・次のような場合、ノイズが出たり、音飛びすることがあります。
— 汚れや傷のあるディスクを聞いているとき
— 特殊な信号が入ったテストディスクなどを聞いているとき
— 本機に連続的に衝撃が加わっているとき
・演奏中にESP機能切り換えされると、少しの間、音がとぎれます。

誤動作を防ぐには
(ホールド機能)
ENTERボタンを押す。
本機をカバンに入れているときなど、誤ってボタンが押されるのを防げます。
(リモコンで操作することはできます。)

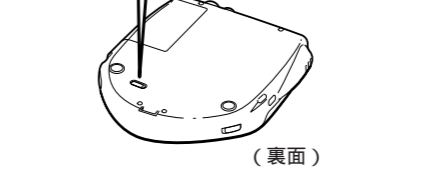
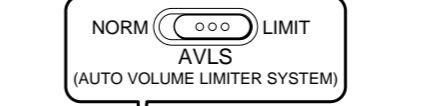


HOLDスイッチを矢印の方向へ動かします。
操作ボタンを押すと「Hold」が出て、動作しませぬ。

Hold機能を解除するには、HOLDスイッチを矢印と反対の方向へ動かします。

音もれを抑え耳にやさしい音で聞くには

オートマチック ボリューム リミッター
AVLS(Automatic Volume Limiter System)は耳にやさしい音にするために、音量がある一定以上上がらないようにします。



AVLSスイッチをLIMITに合わせます。
「AVLS」が出ます。



ご注意
・DIGITAL MEGA BASS機能とAVLSを同時に使うと、音がひずむことがあります。その場合は音量を下してください。

止めたところからCDを聞くには

通常は演奏を止めると、次は1曲目から演奏されますが、リジューム機能を使うと、最後に止めたところから演奏されます。



リジューム
RESUMEスイッチをONに合わせます。

リジューム機能を解除するには、RESUMEスイッチをOFFに合わせます。

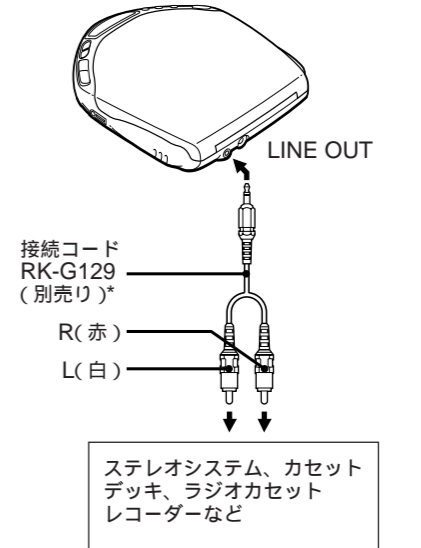
ご注意
・リジューム機能をONにしても、ふたを開けると最後に止めたところの記憶が消え、CDの1曲目から演奏が始まります。
・リジューム演奏は、土約30秒の誤差が出る場合があります。

動作の確認音を止めるには
動作確認のためのピツという音を鳴らないようにできます。

本体電源 AC/パワーアダプター、充電式電池、乾電池)をはずします。本体の■ボタンを押しながら、再び電源を接続します。再び確認音が鳴るようにするには、本体電源をはずし、■ボタンを押さずに本体電源を接続します。

ステレオ機器につなぐ

他のステレオ機器でCDを聞いたり、テープに録音できます。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。接続する機器の電源を必ず切ってから接続してください。

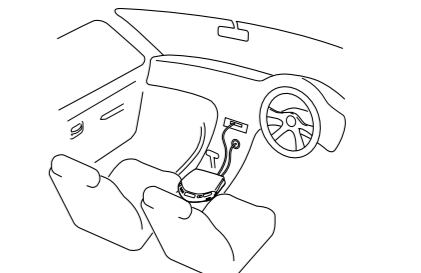


*LINE INやREC INジャックのない機器につなぐときは、別売りの接続コード FRK-G134を使ってCMICジャックに接続します。

ご注意
・CDを聞く前に、つないだ機器の音量を下げてください。思わぬ大音量が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。
・「ピツ」という操作音はLINE OUTジャックからは出力されません。
・LINE OUTジャックにケーブルを接続しているときには、本体のVOLUME つまみでの音量調節はできません。
・LINE OUTジャックにケーブルを接続しているときには、DIGITAL MEGA BASSシステムは働きます。
・ブランクサーチ(無音部検出)機能のあるカセットデッキなどで録音するときは、ESP機能を切ってください。ブランクサーチ機能が働かなくなることがあります。

車の中で聞くには

下の絵のように、車の中でCDを聞くことができます。



本機をカーカセットデッキにつなぐには、次のカーアクトセサリーが必要です。
・マウントキット CPM-450PC/CPM-300PC(マウントプレート+カーバッテリーコード+カーコネクティングバック)または
・カーバッテリーコード DCC-E245とカーコネクティングバック CPA-8/CPA-9
くわしくは各製品の取扱説明書をご覧ください。

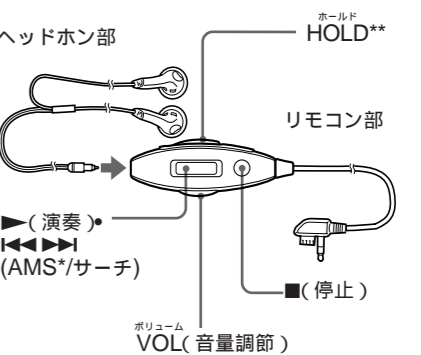
マウントキット(CPM-450PCなど)を使うときは
カーマウントアダプター(マウントプレートに付属)をマウントプレートに取り付けてから、本機を取り付けてください。

ご注意
・本機をダッシュボードの上に乗らないでください。
・本機を直射日光の当たる車の中に置かないでください。
・雑音を減らすためソニーのカーコネクティングバックを使うことをおすすめします。

イグニッション連動オフ機能
充電式電池や乾電池が入っていても、車のエンジンを切る(イグニッションキーをOFFにする)と、本機は自動的に停止状態になります。(車種によってはこの機能が働かないことがあります。)

付属のリモコンを使う

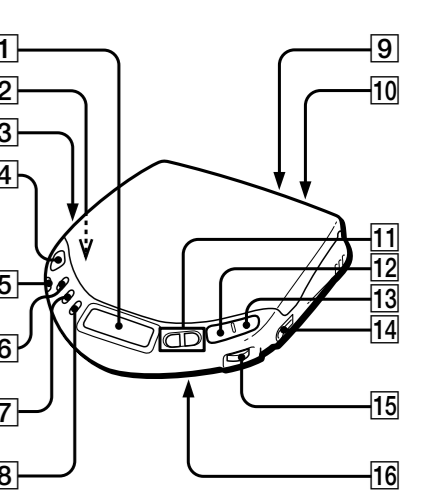
ヘッドホン部
リモコン部



*Automatic Music Sensor
**リモコンを使っていないときは、HOLDスイッチを矢印の方向へ動かします。HOLD機能を解除するには、HOLDスイッチを矢印と反対の方向へ戻します。

ご注意
・付属のリモコンでは、他のプレーヤーを操作できないことがあります。

各部のなまえ



1 表示窓
2 RESUMEスイッチ(ふたの中)
3 DIGITAL MEGA BASSボタン
4 OPENボタン
5 HOLDスイッチ
6 ESPボタン
7 PLAY MODEボタン
8 REPEAT/ENTERボタン
9 DC IN 4.5V (外部電源入力)ジャック
10 LINE OUT(ライン出力)ジャック
11 ◀/▶(AMS**/search)ボタン
12 ■(停止)ボタン
13 ▶▶(演奏一時停止)ボタン
14 ◊/REMOTE(ヘッドホン/リモコン)ジャック
15 VOLUME (音量調節)つまみ
16 AVLS** (快適音量)スイッチ(底面)

*ESPはElectronic Shock Protectionの略です。
**AMSはAutomatic Music Sensorの略です。曲の頭出しをして選曲する方法です。
***AVLSはAutomatic Volume Limiter Systemの略です。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

裏面につづく→

